

2025年12月25日

各 位

会 社 名 株式会社サーティーフォー  
(コード番号 310A TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役会長兼社長 唐橋 和男  
問合せ先 取締役 CFO 渡邊 和哉  
T E L 042-779-7766  
U R L <https://www.thirty-four.co.jp/>

## 通期業績予想の修正及び剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は、当連結会計期間における業績の進捗及び受注状況などを勘案し、2025年2月14日に公表した2025年12月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、期末の普通株式に係る配当について無配とすることを決議いたしましたので併せてお知らせいたします。

## 1. 連結業績予想の修正

## (1)2025年12月期通期連結業績予想値の修正（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,677	百万円 174	百万円 20	百万円 9	円 錢 12.32
今回修正予想 (B)	5,077	△655	△660	△688	△911.08
増減額 (B-A)	△4,600	△829	△680	△697	△923.40
増減率 (%)	47.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2024年12月期)	10,424	△142	△222	58	76.81

## (2)修正の理由

当社の事業用不動産事業は、主力である分譲住宅事業に次ぐ収益の柱として位置付けておりますが、2025年12月期においては当初計画を大幅に下回る見込みとなりました。

2025年に入り、金融市場の動きに連動して投資家が求める利回り水準が想定以上のスピードで高まったことにより、市場全体で売却価格の許容レンジが厳しくなりました。当社としても一定程度の金利上昇は織り込んでいたものの、投資家の利回り要求の上昇幅が想定を上回り、当初想定していた売却条件との乖離が生じたことから、計画どおりの売却が難しい環境となりました。

こうした市場環境に対応するため、売却候補物件については物件の収益性や魅力を高めるための改善（修繕、テナントリーシング等）を進めてまいりました。しかし、これらの改善工程のスケジュールがタイトであったことから、期内に十分な成果を売却条件に反映させることができず、市場が求める利回り水準とのギャップを埋めきれなかったことも、売却計画に影響を与えました。

さらに、当社は8月にマーケティング体制の見直しを行い、投資家へのアクセス強化に取り組みましたが、体制変更の効果が本格的に表れるまでの期間が限られていたことから、今期の売却計画への寄与は限定的となりました。

これらの結果、事業用不動産売買事業において大幅な売上未達が発生する見込みであり、連結売上高は5,077百万円（前回予想比△4,600百万円）、連結営業利益は△655百万円（前回予想比△829百万円）、連結経常利益は△660百万円（前回予想比△680百万円）、当期純利益は△688百万円（前回予想比△697百万円）と、いずれも前回発表を下回る見通しとなったため、通期連結業績予想を修正するものであります。

## 2. 余剰金の配当について

### (1)配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025年2月14日公表)	前期期末実績 (2024年12月期)
基準日	2025年12月31日	同左	2024年12月31日
1株あたり配当金	0円00銭	30円00銭	30円00銭
配当金総額	-	-	22,656千円
効力発生日	-	-	2025年3月29日
配当原資	-	-	利益剰余金

### (2)理由

当社は、株主の皆様に対する利益配分を経営の最重要課題の一つとして認識しており、会社の競争力を維持・強化して株主資本の拡充を図るとともに、配当水準の向上と安定化に努めることを基本方針としております。

2025年12月期は通期業績予想を下方修正したこと、および今後の財務状況を勘案した結果、誠に遺憾ではございますが、期末配当を無配とすることを決議いたしました。

（注）上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の経済動向や受注状況の変化等により、実際の業績が予想数値と異なる可能性があります。

以上